

Oxford Reading Tree Level 5 More Stories C

- ① Sleeping Beauty [321 語]
- ② The Adventure Park [330 語]
- ③ Kipper and the Trolls [360 語]
- ④ Safari Adventure [324 語]
- ⑤ Dad's Run [324 語]
- ⑥ Drawing Adventure [368 語]

Sleeping Beauty 「眠れる森の美女」(321 語)

今度のマジックアドベンチャーは、なんと眠れる森の美女の城！？
王子様を助けて、無事にお姫様を起こす事が出来るのでしょうか？

このお話の基になった、糸車の針を指に刺して 100 年の眠りについた王女様のお話『Sleeping Beauty(眠れる森の美女)』は有名です。英語版はオックスフォード大学出版局より出ている Oxford Classic Tales シリーズにもありますので、まだ英語で読んだ事のない方はこちらもぜひ、どうぞ。

ロールプレイ

キッパーたちが眠れる城に行ってからのお話を演じてみませんか？

本文中のセリフだけを取り出して、役を決めて言うだけでも楽しいですが、これに加えて、他の部分のセリフもオリジナルのアイデアを皆で出し合って演じてみます。劇にして演じるのが大変であれば、動きはつけずに朗読だけで、ラジオ劇風に効果音なども入れて録音してみるのも楽しいですね。次ページのセリフの太字の部分は私の教室の子どもたちが考えたセリフです。オリジナルのセリフと上手く重なると、絵本と一緒に作っているような気持ちになって楽しいですよ。

【オリジナルのセリフの例】

Page	Character	Dialogue
1	Kipper	They look delicious!
	Dad	I'm tired.
2&3	Dad	Phew!
	Kipper	Wow!
	Wilma	Mind the thorns!
	Chip	Ow! The thorns are sharp.
4&5	Wilma	These blackberries are big!
	Biff	It's cute!
6	Teddy	I'm bored.
	Biff	Yuk! This isn't ripe.
7	Biff	The magic is working.
	Kipper	Ha. Ha. Ha! It's fun!
8&9	Kipper	Wow! Look at these thorns.
	Man	Ow! Help! I can't get free!
	Chip	Let's help him.
	Kipper	Who's he?
10&11	Man	Thanks. I wanted to get to the castle, but I got stuck in the thorns.
	Wilma	You're welcome.
	Chip	Who are you?
12&13	Man	I am a prince. I need to get in the castle. There is a princess in there.
	Kipper	No way!
14&15	Wilma	We can help. We can lend you these clippers.
	Man	Mind the thorns.
	Wilma	I'm excited!
16&17	Chip	It's dirty here.
	Kipper	Yuk! Look at the cobwebs.
18	Kipper	The guards are sleeping, too.
19	Biff	She's beautiful!
	Man	Now what do I do?
20	Kipper	You kiss the princess. Then she wakes up. Everyone knows that!

21	Man Chip	Why? Yuk!
22&23	Kipper Princess Kipper King&Queen Chip Wilma	Yeah! At last! Hooray! Thank you for help. Is it happy-ending? Yes!
24	Biff Chip Biff	Time to go. The prince doesn't need us now. Now you kiss my dad, Wilma. He's no Sleeping Beauty!

【訳】

	Sleeping Beauty	眠れる森の美女
1	The Children went to pick blackberries.	子どもたちはブラックベリー(クロイチゴ)を摘みに出かけました。
2	There were lots of blackberries. The bushes had thorns.	そこにはたくさんのブラックベリーがありました。茂みにはトゲがありました。
3	“Mind the thorns,” called Wilma. “Ow!” said Chip. “The thorns are sharp.”	「トゲに気をつけて」とウィルマが叫びました。「いたっ！」とチップが言いました。「鋭いトゲだなあ」
4	Wilma saw some big blackberries. She had some thick gloves and some clippers.	ウィルマは大きなブラックベリーを見つけました。ウィルマは分厚い手袋とハサミを持っていました。
5	Wilma put on the thick gloves. She cut the stems with the clippers.	ウィルマは分厚い手袋をはめました。そしてハサミを使って茎を切り取りました。
6	The children went home. They ate some blackberries. “Yuk! This isn’t ripe,” said Biff.	子どもたちは家に帰りました。みんなでブラックベリーを食べてみました。「おえっ！まだ熟していないよ」ビフが言いました。
7	Biff picked up the magic key. It began to glow. “The magic is working,” said Biff.	ビルはマジックキーを拾い上げました。するとキーは光り始めました。「魔法が働いている」とビフが言いました。
8	The magic took them to a castle. “Wow! Look at these thorns,” said Kipper.	魔法の力で、子どもたちはお城に連れて来られました。「わ～！見て見て、この辺りトゲだらけ！」とキッパーが言いました。
9	A man was stuck in the thorns. “Ow! Help!” he called. “I can’t get free.”	男の人がトゲの間で動けなくなっていました。「いたっ！助けて！」とその人が叫びました。「自由に動けないんだ」
10	Wilma put on the gloves. She got the clippers. Then she cut the man free.	ウィルマが手袋をはめました。そしてハサミを取り出しました。それからあちこち切り取って、その人を自由にしてあげました。

11	<p>“Thanks,” said the man. “I wanted to get to the castle, but I got stuck in the thorns.”</p>	<p>「ありがとう」とその人は言いました。 「城に行きたかったのだが、このトゲに邪魔されて動けなくなってしまったのだ」</p>
12	<p>“I am a prince,” said the man. “I need to get in the castle. There is a princess in there.”</p>	<p>「私は王子だ」とその人は言いました。 「なんとしても城に入らなくては。中に王女がいるのだ」</p>
13	<p>“We can help,” said Wilma. “We can lend you these clippers.”</p>	<p>「お手伝いします」とウィルマが言いました。「このハサミをお貸しします」</p>
14	<p>The thorns were sharp but the prince cut a way in. “Mind the thorns,” he called</p>	<p>鋭いトゲでしたが、王子様はなんとか道を切り開きました。そして「トゲに気をつけたまえ」と言いました。</p>
15	<p>At last, they got to the castle. The prince pushed the door open.</p>	<p>ようやく、皆はお城の中に入る事が出来ました。王子様がドアを押し開けました。</p>
16	<p>They went inside the castle. Everyone was fast asleep.</p>	<p>皆は中に入っていました。 中の人たちは全員眠っていました。</p>
17	<p>There was dust on everything. “Yuk!” said Kipper. “Look at the cobwebs.”</p>	<p>城中ほこりをかぶっていました。 「げっ！」とキッパーが言いました。 「見て、クモの巣だらけだよ」</p>
18	<p>There were cobwebs everywhere. There were even cobwebs on the people.”</p>	<p>クモの巣がそこら中にありました。 人間の上にもかかっていました。</p>
19	<p>At last, they found the princess. She was fast asleep. “Now what do I do?” said the prince.</p>	<p>ついに、皆は王女様を見つけました。 王女様は眠っていました。 「さて、どうしたものか？」と王子様が言いました。</p>
20	<p>“You kiss the princess,” said Kipper. “Then she wakes up. Everyone knows that!”</p>	<p>「あなたが王女さまにキスするんだよ」とキッパーが言いました。 「そうしたら、王女様の目が覚めるんだ。そんなこと誰だって知っているよ！」</p>
21	<p>The prince kissed the princess. “Yuk,” said Chip. The princess woke up.</p>	<p>王子様は王女様にキスしました。 「うわっ！」とチップが言いました。 王女様が目覚めました。</p>
22	<p>“At last!” said the princess. Everyone in the castle woke up.</p>	<p>「やっと来てくれたのね！」と王女様が言いました。お城中の人が目覚めました。</p>

23	<p>The magic key glowed. “Time to go,” said Biff. “The prince doesn’t need us now.”</p>	<p>マジックキーが光りました。 「行く時間だよ」とビフが言いました。 「王子様には私たちはもう必要ないからね」</p>
24	<p>The magic adventure was over. Dad was fast asleep. “He’s no Sleeping Beauty!” said Biff.</p>	<p>マジックアドベンチャーは終わりました。 パパが眠っていました。 「眠れる美男とはとても言えないね！」 とビフが言いました。</p>

The Adventure Park 「アドベンチャー・パーク」 (330 語)

キッパーたちはアドベンチャー・パークに出かけました。みんなワクワクドキドキ大興奮！

【お知らせ】

この *The Adventure Park* 内の一部に、文章およびイラスト音声とは異なる箇所がございます。本文中の「chicken」(チキン)に当たる部分は、当初「sausage」(ソーセージ)だったのですが、ソーセージの一般的な原料が豚肉であることから、これを宗教的な事情により食べられない読者の子どもたちへの配慮として、別の単語(“chicken leg(s)”)に差し替えたものであり、版元である Oxford University Press 英国本社判断におきまして、行われた変更でございます。

しかしながら、今回ご購入頂きました CD つきパックには、音声サポートを必要とする日本の英語学習者のために日本国内で独自に作成した CD とガイドブックを付属しておりますが、これらの作成時点ではソーセージという単語の差し替え予定がなかったため、CD とガイドの音声・文章は、差し替え後のバージョンには残念ながら対応しておりません。現在下記ウェブサイトにて該当ページと音声[※]が無料でダウンロードいただけます。

www.oupjapan.co.jp/oxfordreadingtree

書籍本体と CD やガイドブックの内容との間に誤差が生じたこと、心よりお詫び申し上げます。ユーザーの皆様にはご迷惑をお掛けし誠に申し訳ございませんが、何卒事情ご賢察の上、ご了承頂けましたら幸いです。

尚、テキスト差し替えの詳細は以下の通りです。

ページ	差し替え前 …付属 CD 上の文章	差し替え後 …ストーリーブック上の文章
p.15	“Look at this sausage!”	“Look at this chicken leg!”
p.16	It took the sausage from Dad’ s hand.	It took the chicken leg from Dad’ s hand.
p.17	It began to eat the sausage.	It began to eat the chicken leg.
p.21	“It took Dad’ s sausage!”	“It took Dad’ s chicken leg!”
p.24	They went back but the sausages were burnt.	They went back but the chicken legs were

夢のアドベンチャーパーク

キッパーたちの行ったアドベンチャーパーク、とっても楽しそうでしたね。

どんなアトラクションがあったか、おさらいしてみましょう。パーク内の案内地図を作ってみるのも楽しいですね。

- Chip and Biff went across the log bridge.
- Kipper and Biff went on the rope runway.
- Biff and Dad went in a red canoe.
- Mum, Chip and Kipper went in a green canoe.

その後皆で「こんなアドベンチャーパークがあったらいいな」、と思う、夢のパークのアイデアを出し合ってみましょう。どんなアトラクションがいいかな？ またそれを英語でなんと言うのか、一緒に調べても楽しいですね。アイデアが出たら、今度は皆でその絵を描いてみましょう。

(例)

trampoline(トランポリン)

wall climbing(壁のぼり)

slide(すべり台)

swing(ブランコ)

roller coaster(ジェットコースター)

go-kart(ゴーカート)

*Oxford Reading Tree Stage 6 More Stories B の Ship in trouble というお話の中にもチップたちが近くの adventure playground に出かけて行ったエピソードが出て来ます。

【訳】

	The Adventure Park	アドベンチャー・パーク
1	The children went to an adventure park. They were excited.	子どもたちはアドベンチャーパークへ出かけました。 みんな大はしゃぎしていました。
2	They all wanted to go on the Treetop Adventure. “This looks exciting,” said Chip.	みんなそろって、ツリートップ・アドベンチャー（木の上のアスレチック）に挑戦したがりました。「これはワクワクするな！」とチップが言いました。
3	Chip put on a harness. The harness had a clip at the front.	チップは命綱（ハーネス）をつけました。先の部分にクリップがついていました。
4	Chip went across the log bridge. “Come on, Biff,” he called. “You can’ fall off.”	チップは丸太の橋を渡りました。 「おいでよ、ビフ！」チップが呼びかけました。 「落ちる心配はないからさ」
5	Biff began to go across the bridge. “This is exciting,” she said.	ビフは橋を渡り始めました。 「これってすごくドキドキする！」と言いました。
6	Kipper went on the rope runway. “Off you go!” said Mum.	キッパーはジップラインに挑戦しました。 「さあ行け～！」とママが言いました。
7	“Here I come,” called Kipper. He went down fast. “I want to go next,” said Biff.	「キッパー参上！」とキッパーが叫びました。 すごい速さで、滑って行きました。 「私も次にやってみたい」とビフが言いました。
8	Biff and Dad went in a red canoe. “Come on!” called Biff. “You won’t fall in!”	ビフとパパは赤いカヌーに乗り込みました。 「おいでよ！」とビフが呼びかけました。 「落ちる心配はないからさ！」
9	Mum, Chip and Kipper went in a green canoe.	ママとチップとキッパーは緑のカヌーに乗り込みました。
10	They went across the lake. It was fun in the canoes.	皆で湖を渡りました。 カヌーを漕ぐのは楽しいものでした。
11	Chip saw a big bird in the sky. “Look at that big bird,” he said. “What do you think it is?”	チップは空飛ぶ一羽の鳥を見つけました。 「見て、あの大きい鳥」と彼は言いました。 「あれは何の鳥だと思う？」
12	It was time for a barbecue. They all helped to bring the food. Dad lit the barbecue.	バーベキューの時間になりました。 皆で協力して食料を運びました。 パパがバーベキュー台に火をつけました。

13	“I am hungry,” said Kipper. “It won’t be long,” said Dad.	「お腹がすいたよ～」とキッパーが言いました。 「すぐに出来るよ」とパパが言いました。
14	They all sat at the table. Dad was busy. There was a lot to cook.	皆でテーブルの用意をしました。パパは大忙しでした。焼くものがたくさんあったからです。
15	“This looks good,” said Dad. “Look at this chicken leg! What a good cook I am!”	「これはなかなかいい感じだ」とパパが言いました。「見てごらん、このチキンを！我ながら名シェフだな、僕は！」
16	A big bird swooped down. It had straps on its legs. It took the chicken leg from Dad’s hand.	そこへ、大きな鳥がさ～と飛んで来ました。足にストラップをつけていました。その鳥はパパの手からチキンを奪い取りました。
17	The bird flew back into a tree. It began to eat the chicken leg.	その鳥は木の方へ飛び去って行きました。そしてチキンを食べ始めたのです。
18	The bird sat in the tree. Everyone looked up at it. “It must be hungry,” said Biff.	その鳥は木の上に座っていました。皆でその鳥を見ました。「きっとお腹がすいていたのね」とビフが言いました。
19	Dad got his mobile phone. “A bird has escaped,” he said.	パパが携帯電話を取り出しました。「鳥が一匹逃げましたよ」と言いました。
20	A woman came to catch the bird. It flew down and landed on her arm.	女の人が鳥を捕まえに来ました。するとその鳥は木から下りて女の人の腕に止まりました。
21	“This bird is called a falcon,” said the woman. “It took Dad’s chicken leg!” said Biff.	この鳥はハヤブサと言うのよ」と女の人が言いました。「パパのチキンを取っちゃったんだよ！」とビフが言いました。
22	The woman took the falcon home. Everyone went with her.	女の方はハヤブサを連れ帰りました。皆一緒について行きました。
23	They looked at all the birds. “What beautiful birds,” said Chip.	皆はそこにいる鳥たちを眺めまわしました。「きれいな鳥たちだね！」とチップが言いました。
24	They went back but the chicken legs were burnt. “I’m still hungry!” said Kipper.	皆戻って来るとチキンは全部焦げてしまっていました。「僕、まだお腹すいたままなんだけど」とキッパーが言いました。

Kipper and the Trolls 「キッパーとトロール」 (360 語)

お話に出て来る、恐ろしいトロールの橋に来てしまったキッパーたち。どうなることやら！？

このお話の基になった、トロールがヤギを食べてしまおうとする、*Three Billy Goats Gruff* (『三びきのやぎのがらがらどん』)のお話は有名です。英語版はオックスフォード大学出版局より出ているOxford Classic Tales シリーズの中にも*Three Billy Goats*というタイトルで出版されていますので、まだ英語で読んだ事のない方はこちらもぜひ、どうぞ。

過去形探し→過去形ビンゴ

絵本の中に出て来る動詞の過去形を皆で協力して探して、アンダーラインを引いてみましょう。その後で 16 個選んで、16 マスのビンゴシートの各マスに過去形と現在形を want-wanted ように書いてビンゴをします。

文中に出て来る過去形には、以下のようなものがあります。

wanted, gave, looked, said, made, ran, began, took, jumped, sang, went, set (現在・過去同形), got, had, was, washed

want
wanted

トロールのご馳走

ナメクジバーガー (slug bun)、スライムゼリー (slime jelly)、泥ミント (mud mint)、虫入りパイ (bug pie) など、トロールのご馳走は気持ちの悪い物ばかり。

他にもどんなご馳走が...? 考えてみましょう!

以下は私の教室の子どもたちによるアイデアです。

(例)

frog tempura (カエルの天ぷら)

fried flies (ハエのフライ)

hair cup noodles (髪の毛のカップ麺)

snail salad with no dressing (かたつむりサラダ、ドレッシングなし)

* 考える時あまりにスカレートしすぎて、ホラ一度全開の残酷な食べ物になりすぎないようにご注意ください！！

キッパールの気持ち

文中に出て来るセリフの部分だけ、読んでみましょう。特にキッパールに注目し、順番にキッパール役になって、感情を込めて読んでみましょう。このお話はセリフをつなげて行くだけでロールプレイが可能です。横長の用紙(出来れば4本線入りの英語ノートなど)を用意して、各自でセリフを書き写し、読み上げて行くのもいいでしょう。

【訳】

	Kipper and the Trolls	キッパーとトロール
1	Mum was going to make a cake. She wanted Kipper to help.	ママはケーキを作ろうとしていました。キッパーに手伝ってほしいなと思っていました。
2	First Mum gave Kipper an apron. Then she looked at his hands. "What dirty hands!" said Mum.	まず、ママはキッパーにエプロンを渡しました。それからキッパーの手を見ました。「まあ、なんて汚い手！」とママは言いました。
3	Mum looked at Kipper's nails. Kipper's nails were long. "Let me cut then," said Mum.	ママはキッパーの爪を見ました。長く伸びていました。「爪を切らせてちょうだい」とママが言いました。
4	Kipper made a fuss. He didn't want Mum to cut his nails. He didn't want to wash his hands.	するとキッパーは大騒ぎ。ママに爪を切ってもらうのがいやでたまらないのです。手を洗うのもいやなのです。
5	"I must cut your nails," said Mum. "No! No! No!" said Kipper and he ran out of the room.	「絶対に爪を切らなくては」とママが言いました。「いやだ！いやだ！いやだ！」キッパーはそう言うと、走って部屋から出て行ってしまいました。
6	Kipper ran into Biff's room. Biff looked at Kipper's long dirty nails. "Yuk!" said Biff. "You look like a troll."	キッパーはビフの部屋へ走りこみました。ビフはキッパーの、長くて汚い爪を見ました。「げっ！」とビフが言いました。「それじゃまるでトロールみたいだよ」
7	"It's not fair," said Kipper. But the key began to glow. It was time for a magic adventure.	「そんなのひどいよ」とキッパーが言いました。けれどちょうどその時、マジックキーが光り始めたのです。マジックアドベンチャーの始まりです。
8	The magic took them to a stream. There was a bridge over the stream.	魔法の力で二人は小川のそばに連れて行かれました。そこには橋がかかっていました。
9	Biff wanted to cross the bridge. "We can pick the flowers over there," she said. "Come on!"	ビフは橋を渡ってみたいと思いました。「橋の向こうのお花が摘めるね」と言いました。「行こうよ！」

10	Kipper ran after Biff. But there were trolls under the bridge.	キッパーはビフの後ろを走りました。 しかし橋の下にはトロールたちが潜っていたのです。
11	Suddenly the trolls jumped out. "Oh no!" said Kipper. "Trolls can be nasty."	突然トロールたちが飛び出してきました。 「ああ、たいへん！」とキッパーが言いました。「トロールって悪いやつらなんだ」
12	"Hip, hip, hooray!" sang the trolls. "This is the troll bridge. Do come across."	「いえ～い、やったぜ！」とトロールたちが声を揃えて叫びました。「これはトロール橋だ。さあ、どうぞ。通ってくれ」
13	"Will you eat us up?" said Kipper. "No! No! We will not," sang the trolls.	「僕たちを食べちゃうつもりなんでしょ？」とキッパーが聞きました。「いや、いや、まさか、とんでもない」とトロールたちが答えました。
14	"We are not nasty," said a troll. "We just look nasty."	「俺たちや、悪者なんかじゃないんだ」とトロールの一人が言いました。「見かけが悪いだけでな」
15	"Nobody likes us," said a troll. "We want to have a party but nobody wants to come."	「俺たちや嫌われ者なんだ」と言いました。「ただパーティを開きたいだけなのに、誰も来てくれない」
16	The trolls went under the bridge. They got the party food and set out the party.	トロールたちは橋の下に行きました。そこにはパーティのご馳走がテーブルの上に置かれていました。
17	"Tuck in," said a troll. The trolls had long dirty nails.	「好きなだけ食ってくれ」とトロールが言いました。トロールたちは長くて汚い爪をしていました。
18	"Yuk!" said Kipper. "Look at her long dirty nails." "Look at the troll food," said Biff.	「おえっ！」とキッパーが言いました。「見てよ、この長くて汚い爪！」 「トロールの食べ物を見てごらんよ」とビフが言いました。
19	"Have a slug bun," said a troll, "or some slime jelly."	「ナメクジバーガーはいかがかね」とトロールが言いました。「それともヘドロのゼリーはどうだい」
20	"Have a mud mint," said another troll. "Mud mints are yummy." "Yuk!" said Biff.	「泥ミントをお食べよ」と、他のトロールが言いました。「泥ミントはうまいぞ」 「おえっ！」とビフが言いました。

21	<p>“Have some bug pie,” said a troll.</p> <p>“Yuk!” said Kipper. “Look at his hands.”</p>	<p>「虫入りパイはいかがかね」とトロールが言いました。</p> <p>「うわっ！」キッパーが言いました。「あの手を見てよ」</p>
22	<p>Suddenly the key began to glow. The adventure was over.</p> <p>“At last,” said Kipper.</p>	<p>突然、マジックキーが光り始めました。冒険はおしまいです。</p> <p>「ようやく終わったよ」とキッパーが言いました。</p>
23	<p>The magic took them home. Kipper washed his hands. Then he went to get his nails cut.</p>	<p>魔法の力で、二人は家に戻りました。キッパーは手を洗いました。そして、ママに爪を切ってもらいに行きました。</p>
24	<p>“I’m not a troll,” said Kipper.</p> <p>“Trolls have dirty hands and long nails! Yuk!”</p>	<p>「僕はトロールなんかじゃないからね」とキッパーは言いました。「トロールは手が汚くて、爪が長いんだから！おえっ！」</p>

Safari Adventure 「サファリ・アドベンチャー」 (324 語)

アフリカのサファリで、チップとウィルフがシマウマを助けて大活躍！

アフリカのサファリにいる動物

シマウマのほかにも、どんな動物がアフリカのサファリにはいるのでしょうか？

皆で調べて、サファリの絵を描いてみるものもいいですね。

(例)

Giraffe (キリン)

Hippopotamus (カバ)

Tiger (トラ)

Lion (ライオン)

Cheetah (チーター)

Deer (シカ)

【訳】

	Safari Adventure	サファリ・アドベンチャー
1	Chip and Wilf were tracking Dad. "This is a good game," said Wilf.	チップとウィルフはパパの後をつけていました。 「面白いゲームだね」とウィルフが言いました。
2	"Put this in your hat," said Chip. "Dad won't see us. Then we can track him."	「これを帽子につけて」とチップが言いました。 「パパに気づかれないために。そうすれば、このまま後をつけられるよ」
3	Chip and Wilf hid in the trees. "Keep down," said Chip. "Here comes Dad."	チップとウィルフは茂みの中に隠れました。 「身をかがめていて」とチップが言いました。 「パパが来たよ」
4	Dad went past. He looked for the boys, but he couldn't see them.	パパが通り過ぎました。二人のことを探していましたが、パパには見えなかったのです。
5	Floppy went sniff, sniff, sniff! "Go away, Floppy!" said Chip, but Floppy wouldn't go.	フロッピーがクン、クン、クン、と近寄ってきました。 「フロッピー、あっちへ行け！」とチップが言いましたが、フロッピーは動こうとしませんでした。
6	Chip and Wilf went home. They looked for Biff but se was not there.	チップはウィルフとうちに帰りました。 ビフの姿を探しましたが、いませんでした。
7	The key began to glow. It took Chip and Wilf into a magic adventure.	マジックキーが光り始めました。 チップとウィルフをマジックアドベンチャーに連れて行きました。
8	The magic took tem to Africa. Some zebra were going to drink at a pool.	魔法の力で二人はアフリカに連れて行かれました。 数頭のシマウマが池で水を飲もうとやって来ました。
9	Chip and Wilf looked around. "A herd of zebra!" said Wilf. "Don't let them see us!"	チップとウィルフは周りを見回しました。 「シマウマの群れだ！」とウィルフが言いました。 「僕たち、見つからないようにしなくちゃ！」
10	Chip saw a lorry by a tree. Some men got out.	チップは木の近くのトラックに気づきました。 男の人が数人、降りて来ました。
11	They began to creep up to the zebra. "What do they want?" said Wilf.	その人たちはシマウマに向かって忍び寄って行きました。 「何がしたいのかな？」とウィルフが言いました。

12	“Oh no!” said Wilf. “They are going to catch a zebra.”	「まずいぞ！」とウィルフが言いました。「あの人たち、シマウマを捕まえるつもりだ」
13	“We must stop them,” said Chip. He had an idea. “Come on,” he said.	「何とか止めなくちゃ」とチップが言いました。 いいアイデアが浮かびました。 「来て！」と言いました。
14	The boys ran to the lorry. Chip pressed the horn. “Beeeeeeeeep!” it went.	二人はトラックまで走って行きました。 チップがクラクションを鳴らしました。 「ブ～～ッ！」と音がしました。
15	“Beeeeeeeeep!” went the horn again. The zebra looked up.	「ブ～～ッ！」ともう一回クラクションを鳴らしました。 シマウマたちが頭を上げました。
16	The horn scared the zebra. They ran away.	クラクションの音でシマウマたちはすっかりおびえてしまいました。シマウマたちは逃げ出しました。
17	The men were scared, too. They ran back to the lorry. “Quick! Let’s go,” one called.	男たちも恐がっていました。 走ってトラックに戻って行きました。 「急げ！さあ、行くぞ」と一人が叫びました。
18	“Quick, Wilf,” said Chip. “Run!” They ran away.	「ウィルフ、いそいで」とチップが言いました。 「走ろう！」二人は走って逃げました。
19	Chip and Wilf hid in a bush. They didn’t want the men to see them.	チップとウィルフは茂みの中に隠れました。 男たちに見つからないようにしました。
20	The men couldn’t start the lorry. Suddenly a jeep drove up. There were rangers in the jeep.	男たちはトラックのエンジンをかけることが出来ませんでした。突然、ジープが近づいてきました。 ジープにはレンジャーたちが乗っていました。
21	The men jumped out of the lorry and ran away. The rangers chased after them.	男たちはトラックから飛び降りて逃げ出しました。 レンジャーたちが追いかけてきました。
22	A ranger shook Chip’s hand. “Thank you,” he said. “You saved a zebra.”	レンジャーの一人がチップと握手をしました。 「ありがとう」とその人は言いました。 「君たちがシマウマを救ってくれたんだね」
23	The magic key began to glow. It was time to go. It had been an exciting adventure.	マジックキーが光り始めました。 戻る時間です。ドキドキするような冒険でした。
24	“Why wouldn’t the lorry start?” asked Wilf. “Ha! I took the key!” said Chip.	「でも、なんでトラックのエンジンはかからなかったんだろう」とウィルフが言いました。 「フッフ！ 僕がキーを取っちゃったからさ！」とチップが言いました。

Dad's Run 「パパのマラソン大会」(324 語)

パパが恵まれない子どもたちを救うためのチャリティ・マラソンに挑戦しますが…！？

パパのマラソンコース

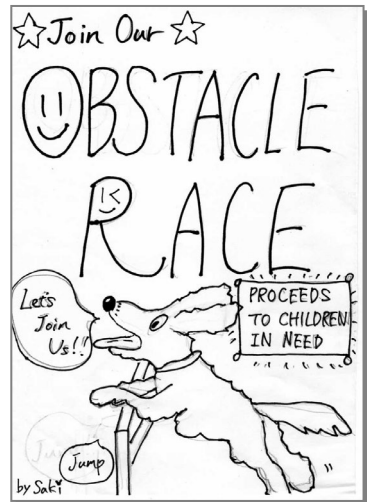
パパが今回走ったのは ORT シリーズでもおなじみの近所の公園。「Kipper たちの住む町 MAP」を参考に、マラソンコースの地図を描いてみましょう。Level 2 にも出て来る、rope swing(タイヤのブランコ)がある stream(小川)の近くも通りますね。



スポンサーつき競技

今回のマラソンは恵まれない子どもたちの為に、スポンサーになってくれた人たちからお金を集めてパパたちが走りました。もしも、そういう目的で実際に何かをするとしたら、どんな競技が良いですか？
本文 4 ページに描かれているポスターを参考にして、その競技のポスターを各自で作ってみましょう。

(例: 障害物競走、イラストは Floppy!)



【訳】

	Dad's Run	パパのマラソン大会
1	Dad went running. Floppy went with him.	パパはランニングをしに行きました。フロッピーも一緒でした。
2	Dad went running every day. "I want to get fit," he said.	パパは毎日ランニングしました。「健康でいたいからね」とパパは言いました。
3	Biff and Chip went with Dad. They went on bikes. "Keep going, Dad," said Biff.	ビフとチップがパパと一緒に went with Dad. 彼らは自転車に乗って行きました。「その調子、パパ！」とビフが言いました。
4	Dad had an idea. He wanted to do the Fun Run.	パパにアイディアが浮かびました。「楽しいマラソン大会」に参加したい、と思ったのです。
5	"What a good idea," said Mum. "But it's a long way to run!"	「いい考えじゃないの！」とママが言いました。「けれどもかなりの長距離を走るのよ」
6	Biff and Chip told everyone. "Dad is going to do a Fun Run," said Biff.	ビフとチップは皆にその話をしました。「パパが楽しいマラソン大会に出るんです」とビフが言いました。
7	"It's to help Children in Need," said Chip. "Will you sponsor Dad?"	「恵まれない子どもたちを助けるためなんです」とチップが言いました。「パパのスポンサーになってもらえませんか？」
8	It was the day of the Fun Run. They all went to the park. "It's a long way to run," said Chip.	「楽しいマラソン大会」の日になりました。みんなで公園に行きました。「かなりの長距離を走るんだな」とチップが言いました。
9	"Go!" called a man and the Fun Run began. "Go on, Dad!" called Kipper.	「よ〜い、どん！」と男の人が叫んで、「楽しいマラソン大会」が始まりました。「行け行け、パパ！」とキッパーが言いました。
10	The Fun Run went around the park. "Ten times round the park," said Dad. "It's a long way to run."	「楽しいマラソン大会」は公園の周りを走りまです。「公園 10 周か」とパパが言いました。「かなり長距離だな」
11	Dad ran well. He ran round the park four times. There was still a long way to go.	パパは調子よく走っていました。公園の周りを 4 周しました。でもまだまだ、先は長いのでした。
12	Oh no! Dad's foot went into a hole. Dad fell down. "Ouch!" said Dai. "My foot!"	大変！パパの足が穴にすっぽり入ってしまいました。パパは転んでしまいました。「痛っ！」とパパが言いました。「足が！」

13	A man looked at Dad's foot. "You must rest it," he said. "You can't run on it."	男の人が来て、パパの足を見ました。 「足を休ませなくては」とその人は言いました。「この状態では走れませんよ」
14	Dad couldn't finish the Fun Run. "What bad luck!" said Mum. "Poor old Dad!"	パパは「楽しいマラソン大会」を完走出来なくなりました。「運が悪いわね！」とママが言いました。「かわいそうなパパ！」
15	Dad was upset. "Oh no!" he said. "Now I can't help Children in Need."	パパはがっかり。 「あ～あ！」とパパは言いました。「これじゃあ、恵まれない子どもたちを助けられないよ」
16	Wilf had an idea. "We can push you in the old pram," he said.	ウィルフにアイディアが浮かびました。 「僕たちが昔使ってたベビーカーに乗せて押してあげるよ」と言いました。
17	Wilf and his mum ran home. They got the old pram and ran back with it.	ウィルフはママといっしょに走って家に行きました。古いベビーカーを見つけ、それを押しながら走って戻って来ました。
18	"Come on, Dad" said Chip. "Get in the pram." "We will all push you," said Mum.	「パパ、来て！」とチップが言いました。「ベビーカーに乗って！」「皆で押すからね」とママが言いました。
19	Dad sat in the pram. They pushed him round the park.	パパはベビーカーに乗りました。皆でパパを押しながら公園の周りを回りました。
20	"Hooray!" everyone called. "It's not far now!"	「がんばれ～！」と皆が叫びました。 「もうそう遠くはないぞ！」
21	"But it's a long way to push a pram," said Mum. "Keep going!" said Dad.	「けれど、ベビーカーを押すにはかなりの長距離ね」とママが言いました。 「その調子だ！」とパパが言いました。
22	It was the end of the run. The wheels came off the pram. Dad fell out.	マラソンのゴールに着きました。ベビーカーの車輪が取れてしまいました。パパは落ちてしまいました。
23	"What a way to end the run," said Dad. "But thank you for pushing me."	「すごいゴールの仕方だったな」とパパが言いました。「でも押してくれて、ありがとう」
24	"That was a fun run," said Kipper. "But it was a long way to push a dad!"	「本当に楽しいマラソンだったね」とキッパーが言いました。「でもパパを押しして走るには長い道のりだったなあ！」

Drawing Adventure 「お絵かきアドベンチャー」 (368 語)

ウィルマとチップの描いた絵が、マジックアドベンチャーの世界で動き出して…

My Drawing Adventure

本文の一部を変えてオリジナルの物語を考えてみましょう。少しお話をはしょって、短くしてみます。イラストも子どもたち自身で描いて、My Drawing Adventure を完成させましょう。

(展開例)

 A (子どもの名前) had a lot of drawings.

(Aさんはたくさん絵を持っていました)

They were all pictures of B . (人、動物、もの等)

(どれもこれも B の絵でした)

 C (子どもの名前) was painting a picture.

(Cさんは絵を描いていました)

He (She) was painting D . (人、動物、もの等)

(彼(彼女)は D の絵を描いていました)

The magic key began to glow.

(マジックキーが光り始めました)

The magic took them to D .

(魔法の力で彼らは D に連れて行かれました)

It looked like C 's painting.

(Cさんの(描いた)絵にそっくりでした)

Suddenly D began to E (動詞).

(突然 D が E を始めました)

“Come on! Run!” yelled A .

(「行こう！走って！」と A さんが叫びました)

“Help! Help!” C called.

(「助けて～！助けて～！」と C さんが叫びました)

A had an idea

(A さんにアイデアが浮かびました)

He (She) began to draw F . (人、動物、もの等)

(彼(彼女)が F を描き始めました)

A helped C .

(A さんは C さんを手伝いました)

The magic key began to glow.

(マジックキーが光り始めました)

“What an adventure!” they said.

(「すごい冒険だったね！」と二人は言いました)

(教室作品例)

Yota had a lot of drawings.

They were all pictures of beetles.

Yuto was painting a picture.

He was painting a storm.

The magic key began to glow.

The magic took them in a storm.

It looked like Yuto's painting.

Suddenly rain began to fall.



“Come on! Run!” yelled Yota.

“Help! Help!” Yuto called.

Yota had an idea.

He began to draw a big umbrella.

Yota helped Yuto.

The magic key began to glow.

“What an adventure!” they said.



【訳】

Drawing Adventure	お絵かきアドベンチャー
1 Wilma had a lot of drawings. They were all pictures of girls.	ウィルマはたくさん絵を持っていました。どれもこれも女の子の絵でした。
2 "I like drawing clothes," Wilma said. Biff looked at Wilma's pictures. "They are good," she said.	「洋服を描くのが好きなの」とウィルマが言いました。ビフはウィルマの絵を見ました。「どれも上手ね」と言いました。
3 Chip was painting a picture. He was painting a volcano.	チップは絵を描いていました。火山の絵を描いていました。
4 Wilma moved her leg. She kicked Chip's water over. "Whoops!" said Wilma. "Sorry."	ウィルマが足を動かしました。そしてチップの絵の具の水を倒してしまいました。「おっと！」とウィルマが言いました。「ごめん」
5 The water ran over Chip's picture. Chip was cross. "My picture is a mess now!" he said.	水がチップの絵にかかってしまいました。チップは怒りました。「僕の絵がぐちゃぐちゃになっちゃったじゃないか！」と言いました。
6 Chip flicked paint over Wilma's picture. "Your drawings are silly," he said. Biff told Chip to say sorry.	チップは絵の具をウィルマの絵に引っかけました。「おまえの絵なんかくだらない」と言いました。ビフはチップに謝るように言いました。
7 Chip was too cross to say sorry. He flicked paint at Wilma. Then the key began to glow.	チップはものすごく怒っていたので、謝ろうとはしませんでした。チップはウィルマに絵の具を振りかけました。その時、マジックキーが光り始めました。
8 The magic took them to a volcano. It looked like Chip's painting. But where was Chip?	魔法の力で彼らは火山に連れて行かれました。チップの絵にそっくりでした。でも、チップはどこにいるのでしょうか？
9 "Look at those girls," gasped Wilma. "They look like the ones in my drawings." Look at their clothes."	「見て、あの女の子たち」ウィルマがハッと一言言いました。「私の絵にそっくり。あの洋服を見てよ」
10 The girls called to Wilma. "Do you like my top?" said a girl. "Do you like my boots?"	女の子たちはウィルマに呼びかけました。「私のシャツ、気に入った？」と一人が言いました。「ブーツはどう？」

- | | | |
|----|--|---|
| 11 | Suddenly, the volcano began to spit out blobs of red paint. Splat! A big blob landed by Biff. | 突然、火山から赤い絵の具の滴が降ってきました。パシャ！大きな水滴がビフのすぐそばに落ちました。 |
| 12 | “Come on! Run!” yelled Biff.
“Run! Or the volcano will get us.”
“I can’t run in these boots,” said a girl. | 「行こう！さあ、走って！」とビフが叫びました。「でないと火山の噴火に巻き込まれちゃう」「このブーツじゃ、走れないわ」と女の子が言いました。 |
| 13 | “Run!” yelled Wilma.
“We can’t,” said a girl.
“I can’t run in this dress!” | 「走るの！」とウィルマが叫びました。「無理よ！」もう一人の女の子が言いました。「このドレスじゃ、走れない！」 |
| 14 | Splat! Red blobs landed everywhere.
“It’s red paint!” said Biff.
Splat! A red blob hit a girl. | パシャ！赤い水滴があちこちに落ちて来ました。「赤い絵の具だ！」とビフが言いました。パシャ！赤い絵の具の滴が女の子に当たりました。 |
| 15 | Red paint began to gush out of the volcano. It looked like a big, red river. | 赤い絵の具が火山から噴出して来ました。まるで大きな赤い川のようにです。 |
| 16 | Wilma had an idea. She began to draw jeans and tops. Biff helped her. | ウィルマにアイデアが浮かびました。ジーンズとシャツを描き始めました。ビフも手伝いました。 |
| 17 | “Quick! Put these on,” said Wilma. “Oh! We like these,” said the girls. | 「急いで！これを着て」とウィルマが言いました。「まあ！気に入ったわ」と女の子たちが言いました。 |
| 18 | “Now run!” called Wilma.
They all ran. | 「さあ、走るのよ！」とウィルマが叫びました。全員で走りました。 |
| 19 | Chip was in the paint river.
“Help! Help!” he called. “Get me out!” | チップは絵の具の川の中にいました。「助けて～！助けて～！」と叫びました。「ここから出して！」 |
| 20 | Biff and Wilma saw Chip.
“Stop!” they called. “We must get him out.” | ビフとウィルマはチップの姿を見ました。「止まって！」と二人は叫びました。「なんとかして、出してあげなくちゃ」 |
| 21 | “Wilma had an idea. She drew a long rope.
“Hold on, Chip,” she called. | ウィルマにアイデアが浮かびました。ウィルマは長いロープの絵を描きました。「しっかりつかんで、チップ！」とウィルマが叫びました。 |

<p>22 They pulled Chip out. "I'm glad this is only paint and not a real volcano," said Biff.</p>	<p>二人はロープを引っ張って、チップを助け出しました。「これが火山じゃなく、ただの絵の具で、ほんとに良かった」とビフが言いました。</p>
<p>23 "Phew!" said Chip. "Am I glad you pulled me out!" The magic key began to glow.</p>	<p>「ふう！」とチップが言いました。「引っ張り出してくれてよかったよ」マジックキーが光り始めました。</p>
<p>24 "Now are you sorry, Chip?" said Biff. Chip had a blob of paint on him. "I am," he said. "Sorry!"</p>	<p>「これで反省したでしょうね、チップ？」とビフが言いました。チップの服には絵の具の水滴がついていました。「もちろんだよ」とチップは言いました。「ごめんね！」</p>

著者 原田 真理子

児童英語教室・英語多読教室 Sunny Day English Park 主宰
藤沢オリーブチャペル「オリーブキッズ英語教室」講師